

たまがわ つるみがわ さがみがわ

川の市民情報

2021年
8国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所RCM事務局 URL : <https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール / ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM) : 住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

～河川の水質向上を目指して～

多摩川, 鶴見川, 相模川各水系の水質現況

公害問題が顕在化してきた昭和40年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」と言われる河川が全国に多くありました。例えば、当時の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。しかし、排水規制や下水道整備、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取り組みや、流域でのクリーン活動の啓発活動といった流域の人々の様々な活動を背景に、昭和50年代後半にはアユの遡上が確認されるまでに水質がよくなり、近年では大量のアユが毎年遡上するまでになっています。

これからも水質を維持・改善していくためにはこのような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。

全国で毎年水質調査が実施されていますが、関東地方整備局でも昭和33年より調査を実施しており、今年、令和2年度の結果が発表されましたので、京浜河川事務所で行った河川の調査結果を中心にご紹介いたします。BOD、COD※値は、多摩川水系、鶴見川水系、相模川水系の調査全地点で環境基準※※を満足しました。図1、図2

※BOD : 生物化学的酸素要求量 COD : 化学的酸素要求量 水質汚濁の程度が高いほど、BOD、CODともに数値が高くなります。

※※環境基準 : 環境基本法に基づき、人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準(水質基準)が定められています。



図1 令和2年 BOD・COD75%値の水質状況

凡例

BOD (mg/L)	COD (mg/L)
● 1.0以下	■ 1.0以下
● 1.1 ~ 2.0	■ 1.1 ~ 3.0
● 2.1 ~ 3.0	■ 3.1 ~ 5.0
● 3.1 ~ 5.0	■ 5.1 ~ 8.0
● 5.1 ~ 8.0	■ 8.1以上
● 8.1 ~ 10.0	
● 10.1以上	

1.○内の色はBOD75%値※(年間の日間平均値の全データを値の小さい順に並べたときの「 $0.75 \times$ データ数」番目の値)のランクを示す。
2.○は環境基準を満足していない地点である。

裏面へ

→ 平成17年度から実施している「新しい水質指標による調査」では小中高生から延べ47人の参加を得て協働により「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」などの視点で調査を実施、多摩川調布橋、拝島橋で2つの視点でAランクでした。図2 水生生物による水質の簡易調査では、相模川神川橋、多摩川新二子橋などの地点で「Iきれいな水※※※」と判定されました。図3

ダイオキシン類実態調査では、多摩川、鶴見川、相模川の調査地点において環境基準を満足しました。

水質事故の通報件数は、関東地方整備局全体で平成26年度から減少傾向にあり、多摩川、鶴見川とも前年を下回りましたが、相模川は増加しています。

※※※判定内容は「Iきれいな水」「IIややきれいな水」「IIIきたない水」「IVとてもきたない水」「判定不能」の5段階です。

図2 新しい水質指標による調査結果 (Aランク)



図3 水生生物による水質の簡易調査結果



水生生物による水質の簡易調査の状況



RCM活動報告 令和3年7月
今回はご報告がありませんでした
皆様からの御報告お待ちしております!

RCM事務局より
 76年前の1945(昭和20)年8月24日、終戦からわずか9日後の朝に、多摩川に架かるJR(旧国鉄)八高線の橋梁のほぼ中央部分で蒸気機関車が正面衝突するという痛ましい事故が発生しています。JR八高線は当時も今も単線ですが、台風により小宮駅、拝島駅間の連絡がうまくいかなかったのが衝突の原因です。戦争を生き延びて復員した兵や学生など多くの方が事故の犠牲になられたそうです。橋梁付近で発見された車輪が左岸側に設置してあります。お近くにお立ち寄りの際は訪れてみてはいかがでしょうか。 RCM事務局 鈴木、関屋